

ミツバチの生息地を確保する

ポリネーターガーデン100万か所への挑戦

全国ポリネーターガーデン・ネットワーク (NPGN) は、“ポリネーターガーデン100万か所への挑戦” (Million Pollinator Garden Challenge) を推進している¹⁾。

NPGN は2014年秋に、ミツバチとその他のポリネーターの健康促進に対する連邦政府の行政部戦略の支援にもとづき、危機に瀕したポリネーター個体群の再生に役立つ官民セクターによる協力を提案するために創設された。

構成は、ポリネーター・パートナーシップ (Pollinator Partnership)、全国野生生物連盟 (NWF)、全国植木・造園・園芸協会 (AmericanHort)、全米種子取引協会 (ASTA)、全米パブリックガーデン協会 (APGA)、全国ガーデニング協会 (NGA)、全国ガーデン事務局 (NGB)、ホームガーデン種子協会 (HGSA) の8組織である。

NPGN のねらいは、個人、コミュニティ・グループ、協会、ガーデン産業に対して持続可能なガーデニングの実践、より多くのポリネーター・ハビタットを創出する気運をつくり、これらのグループに必要なツールを提供することにある。そのため、ポリネーターを支援する百万か所の公共・民間の庭園・造園植栽地を登録するキャンペーンを推進している。2017年6月現在、202,872か所が登録されている。

Bee City USA の活動

さらに、Bee City USA (BCU) による新たな活動が始まっている²⁾。BCU はポリネーターのための持続するハビタットの創出を保証することを目的に、全米の市、町、郡、コミュニティに Bee City への加入を呼びかけている。

ポリネーターの生息環境を整えることは、コミュニティにとって、生命維持に必要な動物種の生存を保証する、地域の食料生産を改善する、地域の植物ナーセリー市場を刺激する、コミュニティを外来種駆除に従事させる、害虫問題に毒性を及ぼさない方法により取り組む、季節変化への認識を高める、零細企業のビジネスチャンスを増やす、といった恩恵がもたらされることを指摘する。

会員は次の手順を参考に、ポリネーターの活動の場を創り出す (図5)。

ステップ1のポリネーターに優しい植物を選ぶには、Pollinator Partnership から提供されている無料の植栽ガイドをダウンロードする。

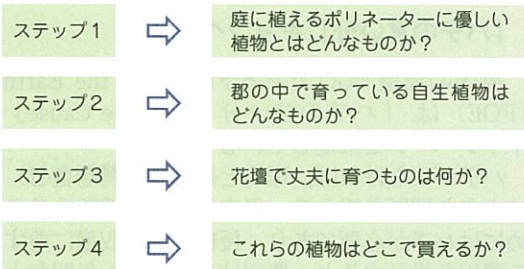


図5 ポリネーターの活動の場を創り出す手順

Pollinator Partnership は、ポリネーターハビタットを改善するためのポリネーターに有用な植物を知るツールとして32種類の異なる植栽ガイドを提供している。各ガイドは豊富な自生植物とポリネーター情報を満載し、郵便番号を入力することで当該地域の植栽ガイドを無料でダウンロードできる。植物名リストには、樹木、灌木、多年草について、花色、樹高 (草丈)、開花期間、日当たり、土壌、訪花ポリネーター、さらにハチの種類と授粉する植物が整理されている。

あるいは、アプリ: Bee Smart Pollinator Gardener を携帯電話にダウンロードして利用する方法もある。また、Xerces 協会からは、カリフォルニアから南部大草原まで9つのエリアの植物リストが提供される。

ステップ2の自生植物については、米国農務省の植物データベース: USDA online Plants database やワイルドフラワーセンター (WFC) の自生植物リスト: Lady Bird Johnson Wildflower Center ; Native Plants が役立つ。

ステップ4の植物の供給は、WFC のウェブの中に、1,398件の自生植物を取り扱うナーセリー、種子会社、造園業者、環境コンサルタントの所在リストが掲載されている。リストには商品やサービスの自生植物取り扱い比率が記載され、さらに、WFC の提携メンバーとなっている266業者は、WFC 会員への商品等の割引率を明記している。また、WFC と提携して自生植物の保全と利用に取り組む自生植物協会、植物園、樹木園など643組織もリスアップされている。

現在、シアトル市 (ワシントン州)、フェニックス市 (オレゴン州) など48市が Bee City に登録している。同様の趣旨で Bee Campus があり、こちらは29の大学が登録している。Bee Campus の第1号は南オレゴン大学 (Southern Oregon University : SOU, オレゴン州) である。SOU では、すべてのネオニコチノイド系農薬の使用をやめ、キャンパスをハチや他のポリネーターを守ることに役立つ努力をしている。さらに、SOU 造園学科は以下に示す Bee Cause Campaign にも賛同している。

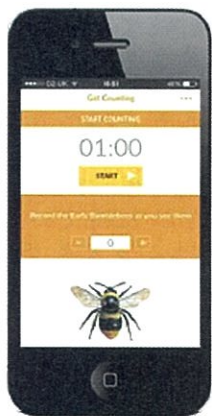
「ハチの言い分」キャンペーン

英国の環境 NGO である Friends of the Earth (FOE) は、「ハチの言い分：The Bee Cause」キャンペーンを推進している³⁾。

ハチがいなければ、環境と経済（食料を含む）は大きな問題を抱える。果実や野菜に授粉するためにはハチが必要であり、授粉作物の収穫に要する費用を推計すると、農家は少なくとも年間およそ2,549億円の費用を投じなければならない。英国のハチは、ハビタットの喪失、有害な農薬に晒される、気候変動など多くの危機に直面している。今まさに、ハチは人間の助けを必要としている。FOE はハチを救うことができる容易な方法について学び、活動への支援を呼びかけている。

主な活動に「英国のハチを数えよう：Great British Bee Count」があり、2017年は5月19日から6月30日までをキャンペーン期間としている。最終的に16,282人が今年の「英国のハチを数えよう」に参加して、320,337匹のハチが記録されている（シリー諸島からオークニー諸島まで）。そのうち35種が英国で絶滅の危機にあると考えられている。16タイプのハチが今年のアプリに登場している（単生ミツバチ：群生しないハキリバチ科などのハチを含む）。昨年の参加者の97%は、庭やコミュニティにおいて、あるいはソーシャルメディアに触発されてハチを救う行動に立ち上がった。参加者はハチを数える無料のアプリを携帯にダウンロードして、次の4つのステップによりハチを観察する。

ステップ1：写真を撮って送る（任意）、ステップ2：見つけたハチはどれか？、ステップ3：天候とハビタットを確認する（この情報はハチの行動や、どんなハビタットがポリネーターに優しいかについて有用な考察を与える。）、ステップ4：位置を確認する（GPSを使うか郵便番号を送る）。



出典：<https://www.foe.co.uk/bee-count>

ハチはどの位の頻度で訪れるか？というオプションは、どのハチがどの植物を好むかについて情報を得るためのもの。方法は、花の咲いている植物を含む0.5×0.5mの区画を決めて観察する。

その時、観察する1つのタイプの植物、例えばラベンダー、を選ぶ必要がある。それから、数えるハチのタイプを選び、1分間以内で選択したタイプのハチが何匹その植物を訪れたかを数える。

時間を計るために写真に示すタイマーをセットする。この情報がFOEに送られると、ハチに最良の植物テーブルが作られ、庭や地域住民の使用するエリアにこれらの植物を植えることに役立てられる。

2017年のアプリにはデータの有用性を改善する新しい特徴が付加され、National Biodiversity Network Atlas（国内最大規模の生物多様性情報を集積）を通して実証されたデータを共有することができるようになっていく。

あるいは、ウェブ内の「ハチに優しい家と庭：Bee friendly home and garden」には、ハチに向く28種類の植物、ハチやポリネーター昆虫で騒がしい庭にする季節ガイド、庭でハチを助ける10の容易な方法、野生生物にやさしいガーデニングガイド、ハチの飼養方法といった18事例のpdfファイルが掲載されている。

ユニークなものに「Bee & Bee を創り出そう」という活動がある。申し込みフォームにサインをして送信すれば、自身専用のハチのためのベッドと朝ごはん（bed & breakfast）を創り出すガイドが送られてくる。



出典：<https://act.foe.co.uk/act/create-bee-and-bee>

自身の Bee & Bee を置くために選ぶ場所は、庭、パティオ、窓辺のプランタなどどこでもよく、食料、水、営巣スペースの提供によりハチを丈夫にすることに役立つ。英国の一般的なベッドに朝食が付く宿泊形態、B & Bをもじった面白いネーミングである。

参考文献

- 1) AmericanHort (2014) :AmericanHort and Founding Partners Launch the Million Pollinator Garden Challenge. <http://americanhort.org/>
- 2) Bee City USA : <http://www.beecityusa.org/what-is-a-bee-city.html>
- 3) Friends of the Earth : <https://www.foe.co.uk/page/bee-cause>